

2022年8月吉日

専門学校卒業生を対象とした、全国調査結果のご報告

コロナ禍の専門学校卒業生 専門学校の教育を高く評価、8割以上が成長を実感

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大阪市都島区／理事長 清水尚道）は、株式会社応用社会心理学研究所と共同企画のもと、2022年3月の専門学校卒業生（調査時点では予定者）を対象に『全国専門学校共同卒業生調査』を実施しました。

全国専門学校共同卒業生調査は、専門学校卒業生を対象とし、全国共通指標によって専門学校の教育評価を明らかにする調査として企画されました。専門学校の“価値”にフォーカスし、学生視点での専門学校の教育評価を測定する取り組みであり、今後の専門学校教育のさらなる質の向上や魅力の発信、より良い学校運営の実現に資するエビデンスを収集するとともに、その結果を広く社会に発信していくことを目的にしています。

2020年以降のコロナウィルス感染拡大による環境変化の中、専門学校の学校運営や教育現場においてもかつてないスピードで変革を余儀なくされ、学びや学生生活、就職活動のスタイルなどが大きく変化しました。2年制以内の修業課程が多い専門学校においては、大半の学生がコロナ禍で入学し、卒業していきました。彼らは、卒業した専門学校やそこで受けた教育をどう評価したのでしょうか？ここに調査結果の一部をご紹介します。

調査結果のポイント

1) コロナ禍の学校生活で「イベント・行事が充実していた」と評価する人は3割。

- ・「学校でのイベントや行事が充実していた」と回答した人は29.8%にとどまり、参考値ではあるがコロナ前（2019年）調査と比べると、20ポイント近く下がった。

2) 一方で、コロナ禍でも「先生」や「授業」については高く評価。

- ・76.4%が「先生は教育・指導に熱意を持っていた」、73.7%が「授業の内容が身につけている」と回答するなど、コロナ禍でも「先生」や「授業」についての評価は高い。
参考値ではあるが、コロナ前（2019年）調査よりむしろ評価が高くなっている傾向がみられる。

3) 8割以上の人々が「専門分野の知識や理論」「技能や感覚」を身につけて卒業。

- ・「専門分野の知識や理論」が身についたと回答した比率は85.9%、また「専門分野の実践的な技能や感覚」が身についたとの回答も83.7%と高く、コロナ禍でも変わらず専門分野での成長を実感している。

4) 学びを通して成長を実感する専門学校生。8割以上が「専門学校に入って成長した」。

- ・82.5%が「入学したことによって成長した」、75.5%が「学生生活は充実していた」と回答。
参考値ではあるが、コロナ前（2019年）調査よりむしろ評価が高くなっており、充実した学生生活を送り、学びを通して成長を実感する専門学校生が多いことがわかる。

5) 卒業後、就職する人の9割以上が「学んだことを生かせる」就職先に決定。

- ・卒業後、就職する人のうち、91.7%が「学んだことを生かせる分野」に就職が決定。
また、「就職する」人の雇用形態は、84.7%が正社員である。

6) 8割近くが「総合的に評価して良い学校」。母校に対するロイヤルティも高い。

- ・「総合的に評価して良い学校だ」と思う人が79.0%、「ほかの人に学校を勧めたい」という回答も77.2%にのぼり、母校に対するロイヤルティの高さがうかがわれる。

7) 学校の理念に対する理解度・共感度は5割程度にとどまる。

- ・「本校の教育方針・理念を知っている」と回答した人は49.9%、「共感できる」と回答した人は50.6%であった。
2019年調査より約10ポイント高くなっているものの、今後さらなる改善の必要があると思われる。

※参照校が異なるため単純な比較はできませんが、コロナ前の調査結果の参考値として2019年の本調査のデータを一部掲載しております。

※『全国専門学校共同卒業生調査』では111項目について詳細な調査を行っており、本資料ではその一部を紹介しています。

■ 調査概要 ■

- 企画名 : 専各連合会特別企画『2022年 全国専門学校共同卒業生調査』
- 企画 : 一般社団法人大阪府専門学校各種学校連合会 / 株式会社応用社会心理学研究所
- 調査期間 : 2022年1月～2022年3月
- 調査対象者 : 2022年3月の全国の専門学校卒業予定者 7,372人 (うち有効回答者数 6,724人)
全国の専門学校 54校
- 調査方法 : 各学校にて授業や試験時などを利用して調査票(アンケート用紙)をその場で配布・回収、もしくは、調査用URLを案内し、各自のPCやスマホから回答。 ※いずれも無記名で実施
- 分析対象者 : できるだけ専門学校卒業生全体の傾向を正確に把握できるように以下①～③のデータ処理を行った結果、抽出された5,562名を分析対象としています。
- ①回答精度が低いなど、分析に適さないサンプルを除去
 - ②各学校から200サンプルを上限にランダムに抽出し、規模の大きい学校の偏りを是正。
「令和3年度学校基本調査」(文部科学省)の属性別・分野別入学率に合わせたデータに重みづけを行い集計しています。
※単位未満で四捨五入しておりますので、内訳の計と「全体」の人数は必ずしも一致しません。

調査項目 : 以下111項目

- ・プロフィール(性別、居住形態、入学時の入試方式、卒業後の進路など)
- ・学校へのロイヤルティと総合評価(総合評価・コミットメント、学校の教育理念の理解・浸透度)
- ・充実・満足度(学生生活、教育内容)
- ・個別実態評価(環境、イベント・クラブサークル、社会とのつながり、カリキュラム・教育内容など)
- ・経験・体験(達成体験、チームワーク体験、自己理解体験など)
- ・身についたと思うこと(知識や技術、しつけやマナー、姿勢や態度など)
- ・進路満足と職業意識(進路に対する満足・納得度、就労意欲、キャリアビューなど)
- ・学校イメージ

◆『全国専門学校共同卒業生調査』の概要◆

本調査は、学生視点で、専門学校における「学び」「教育」の実態(成果や課題)を総合的に明らかにし、専門学校教育のさらなる質の向上に資する情報を各校や社会に発信することを目的に、2015年から一般社団法人大阪府専門学校各種学校連合会と株式会社応用社会心理学研究所の共同企画により全国で実施されています。専門学校の卒業予定者を対象とした全国共通指標による大規模調査としては他に例がなく、画期的な取り組みとして注目されています。

株式会社応用社会心理学研究所の25年にわたるキャリア教育研究(13歳のハローワーク「しごと観育成」研究会など)で明らかになった知見が盛り込まれており、専門学校教育の今後の意義や成果を社会に発信するとともに、今後の質向上にむけた施策を検討する際の数少ない貴重なエビデンスとして今後活用が期待されています。

なお、一般社団法人大阪府専門学校各種学校連合会と株式会社応用社会心理学研究所は、専門学校を対象とした共同調査として、2009年度より『全国専門学校共同入学調査』も実施しています。

本件に関するお問い合わせ先

- 企画事務局 : 一般社団法人 大阪府専門学校各種学校連合会
担当 : 西本
〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20 大阪私学会館1階
TEL : 06-6352-0048 FAX : 06-6352-7553
mail : info@daisenkaku.or.jp URL : https://daisenkaku.or.jp
- 調査データについて : 株式会社 応用社会心理学研究所 (アспект)
担当 : 古谷 (ふるや)
〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F
TEL : 06-6941-2171 FAX : 06-6941-2081
mail : account@aspect-net.co.jp URL : https://www.aspect-net.co.jp

専門学校卒業生の学校評価（学校内外とのつながり）

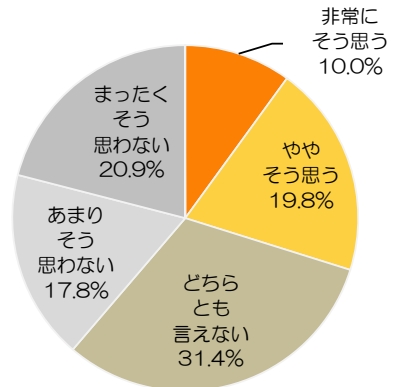
コロナ禍の学生生活で
「学校でのイベントや行事が充実していた」と評価する人は3割。

- ・「学校でのイベントや行事が充実していた」という項目に対して、「非常にそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の合計は、29.8%にとどまる。
参考値としてコロナ前（2019年）本調査結果と比べると20ポイント近く低下している。（※）
- ・同様に「企業や業界とのつながりや交流があった」に対しても、肯定的な回答は5割程度であり、コロナ前（2019年）から約4ポイント低下。（※）
コロナ感染拡大で学校生活が制限された影響が考えられる。

※参画校が異なるため単純な比較はできませんが、参考値として2019年の本調査（全国専門学校共同卒業生調査）のデータを掲載しています。（以下同様）

■ 学校教育評価：学校でのイベントや行事が充実していた【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	557	10.0
ややそう思う	1103	19.8
どちらとも言えない	1748	31.4
あまりそう思わない	988	17.8
まったくそう思わない	1165	20.9
不明	2	0.0
全体	5562	100.0



<参考> 2019年本調査（全国専門学校共同卒業生調査）の同項目との比較

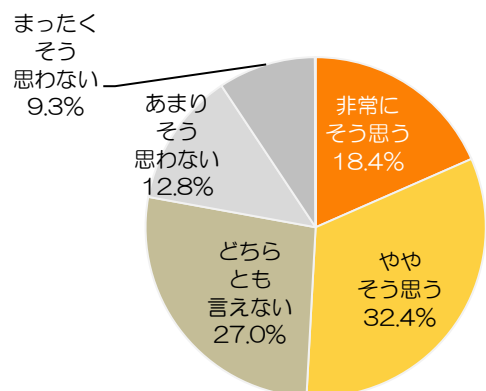
※5%未満は非表示

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が48.4%であり18.6ポイント低下した。

※参画校が異なるため単純な比較はできませんが、参考値として掲載します。

■ 学校教育評価：企業や業界とのつながりや交流があった【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	1025	18.4
ややそう思う	1805	32.5
どちらとも言えない	1502	27.0
あまりそう思わない	709	12.8
まったくそう思わない	516	9.3
不明	4	0.1
全体	5562	100.0



<参考> 2019年本調査の同項目との比較

※5%未満は非表示

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が54.6%であり3.7ポイント低下した。

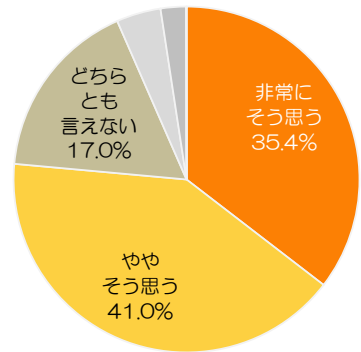
専門学校卒業生の学校評価 (先生・授業)

一方で、コロナ禍でも「先生」や「授業」については高く評価。
 7割以上が「先生は教育・指導に熱意を持っていた」、
 「授業の内容が身につけている」。

- ・「先生は教育・指導に熱意を持っていた」という項目について、「非常にそう思う」「ややそう思う」という肯定的回答を合計すると76.4%。
- ・また「授業の内容が身につけている」については73.7%が肯定的に回答しており、コロナ禍でも「先生」や「授業」に対する評価は高い。
 参考値ではあるが、コロナ前（2019年）は、「先生の熱意」が71.5%、「授業が身についた」が66.1%であり、むしろ評価が高くなっている傾向がみられる。

■ 学校教育評価：先生は教育・指導に熱意を持っていた [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	1971	35.4
ややそう思う	2281	41.0
どちらとも言えない	945	17.0
あまりそう思わない	231	4.2
まったくそう思わない	133	2.4
不明	1	0.0
全体	5562	100.0



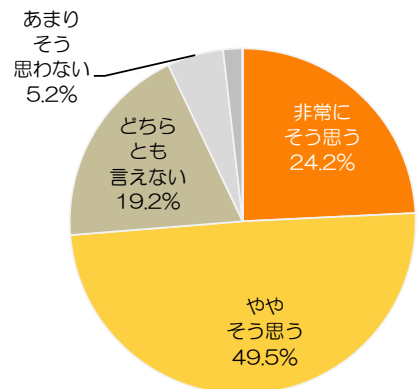
<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が71.5%であり4.9ポイント上昇した。

※5%未満は非表示

■ 学校教育評価：授業の内容が身につけている [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	1348	24.2
ややそう思う	2753	49.5
どちらとも言えない	1068	19.2
あまりそう思わない	292	5.2
まったくそう思わない	100	1.8
不明	1	0.0
全体	5562	100.0



<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が66.1%であり7.6ポイント上昇した。

※5%未満は非表示

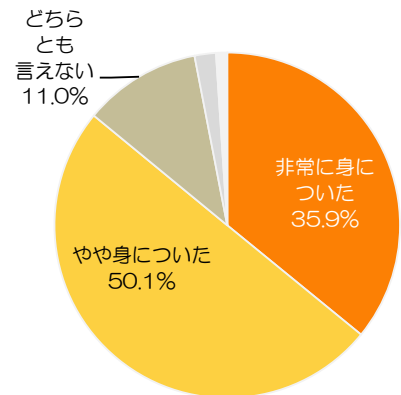
専門学校で身につけたこと

8割以上の人
 「専門分野の知識や理論」「技能や感覚」を身につけて卒業。

- ・「本校（卒業校）に入学して身につけたこと」という設問に対して、「専門分野の知識や理論」について「非常に身についた」「やや身についた」を合わせると、85.9%が肯定的な回答をしている。
- ・「専門分野の実践的な技能や感覚」については、83.7%が身についたと回答。参考値ではあるが、コロナ前（2019年）は、「知識や理論」が81.7%、「技能や感覚」が80.5%であり、コロナ禍でも変わらず専門分野での成長を実感している人が多いことがわかる。

■本校（卒業校）に入学して身についたと思うこと：専門分野の知識や理論 [単一回答]

	人数	%
非常に身についた	1996	35.9
やや身についた	2783	50.0
どちらとも言えない	615	11.0
あまり身につかなかった	111	2.0
まったく身につかなかった	57	1.0
不明	1	0.0
全体	5562	100.0



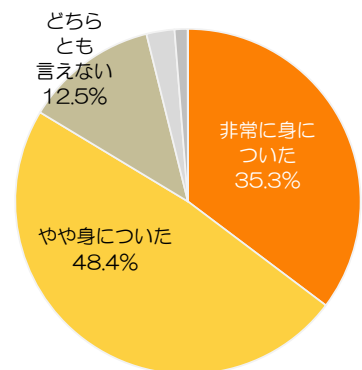
<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常に身についた」「やや身についた」の合計が81.7%であり4.2ポイント上昇した。

※5%未満は非表示

■本校（卒業校）に入学して身についたと思うこと：専門分野の実践的な技能や感覚 [単一回答]

	人数	%
非常に身についた	1962	35.3
やや身についた	2690	48.4
どちらとも言えない	695	12.5
あまり身につかなかった	146	2.6
まったく身につかなかった	68	1.2
不明	1	0.0
全体	5562	100.0



<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常に身についた」「やや身についた」の合計が80.5%であり3.2ポイント上昇した。

※5%未満は非表示

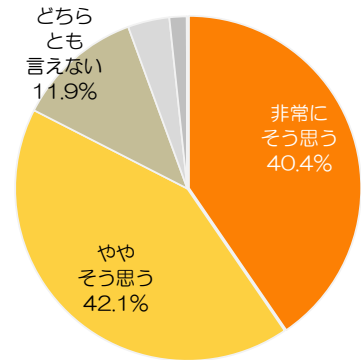
専門学校卒業生の学生生活評価

学びを通して成長を実感する専門学校生
 8割以上が「専門学校に入って成長した」。

- ・「本校（卒業校）に入学したことによって成長した」という設問に対して、「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると、82.5%が積極的な回答をしている。
- ・同様に、「本校での学生生活は充実していた」に対しては、75.5%が積極的な回答をしている。参考値としてコロナ前（2019年）と比較すると、「成長した」が約4ポイント上昇、「充実していた」が約5ポイント上昇しており、コロナ禍でも充実した学生生活を送り、学びを通して成長を実感する専門学校生が多いことがわかる。

■ 学生生活評価：本校に入学したことによって成長した [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	2248	40.4
ややそう思う	2339	42.1
どちらとも言えない	665	11.9
あまりそう思わない	217	3.9
まったくそう思わない	90	1.6
不明	3	0.1
全体	5562	100.0



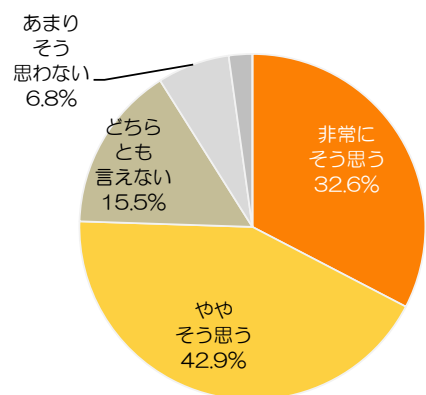
<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が78.8%であり3.7ポイント上昇した。

※5%未満は非表示

■ 学生生活評価：本校での学生生活は充実していた [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	1815	32.6
ややそう思う	2385	42.9
どちらとも言えない	864	15.5
あまりそう思わない	376	6.8
まったくそう思わない	122	2.2
不明	0	0.0
全体	5562	100.0



<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が70.4%であり5.1ポイント上昇した。

※5%未満は非表示

卒業後の進路

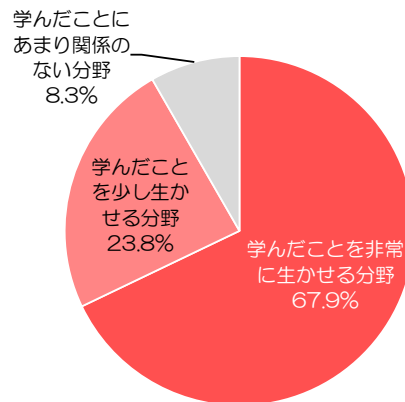
卒業後、就職する人の9割以上が「専門学校で学んだことを生かせる」就職先に決定。

- ・卒業後の進路について「就職する」と回答した人は、77.2%。 ※調査時点での結果
- ・「就職する」人のうち、「(学んだことを非常に生かせる分野に) 就職する」と「(学んだことを少し生かせる分野に) 就職する」を合わせると9割以上になり、ほとんどが専門学校で学んだ専門的な知識や技術を生かせる就職ができています。
 参考値ではあるがコロナ前(2019年)は91.1%であり、ほぼ同水準であった。
- ・また、「就職する」人の雇用形態は、84.7%が正社員である。
 参考値ではあるがコロナ前(2019年)は88.3%であり、やや下がっている。

■卒業後の進路：「就職する」人の就職分野 [単一回答]

※卒業後の進路について「就職する」と回答した人限定

	人数	%
学んだことを非常に生かせる分野	2916	67.9
学んだことを少し生かせる分野	1022	23.8
学んだことにあまり関係のない分野	357	8.3
全体	4295	100.0



※5%未満は非表示

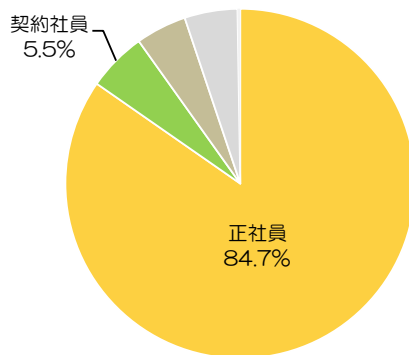
<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「学んだことを非常に生かせる分野」「学んだことを少し生かせる分野」の合計が91.1%であった。

■卒業後の進路：「就職する」人の雇用形態 [単一回答]

※卒業後の進路について「就職する」と回答した人限定

	人数	%
正社員	3636	84.7
契約社員	235	5.5
アルバイト	202	4.7
その他	210	4.9
不明	11	0.3
全体	4295	100.0



※5%未満は非表示

<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「正社員」が88.3%であり、3.6ポイント低下した。

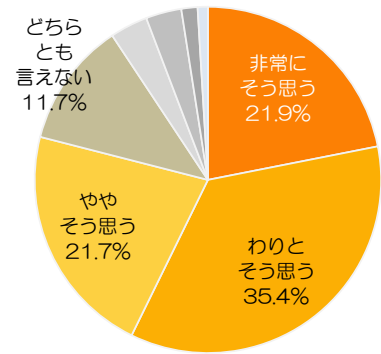
専門学校卒業生の学校ロイヤルティ

8割近くが「総合的に評価して良い学校」と評価。 母校に対するロイヤルティも高い。

- ・「総合的に評価して、良い学校だ」と思っていた人は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」「ややそう思う」という積極的な評価を合計すると、79.0%であった。
- ・また、「この分野に興味を持つ人がいれば、本校（卒業校）を勧めたい」との回答も77.2%に上り、母校に対する満足度やロイヤルティの高さがうかがえる。
 参考値ではあるがコロナ前（2019年）と比較すると、「総合的に評価して良い学校だ」が75.3%、「本校を勧めたい」が72.4%であり、若干評価が上がっている。

■卒業校評価：総合的に評価して、良い学校だ【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	1218	21.9
わりとそう思う	1967	35.4
ややそう思う	1209	21.7
どちらとも言えない	650	11.7
ややそう思わない	196	3.5
あまりそう思わない	185	3.3
まったくそう思わない	84	1.5
不明	53	1.0
全体	5562	100.0



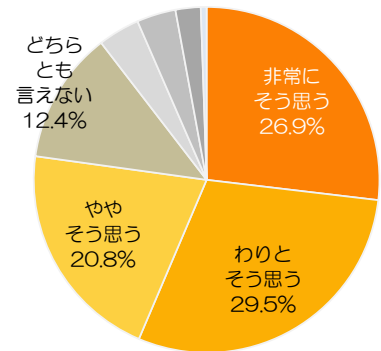
<参考> 2019年本調査の同項目との比較

※5%未満は非表示

2019年は「非常にそう思う」「わりとそう思う」「ややそう思う」の合計が75.3%であり、3.7ポイント上昇した。

■卒業校評価：この分野に興味を持つ人がいれば、本校（卒業校）を勧めたい【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	1495	26.9
わりとそう思う	1643	29.5
ややそう思う	1156	20.8
どちらとも言えない	688	12.4
ややそう思わない	217	3.9
あまりそう思わない	203	3.6
まったくそう思わない	131	2.4
不明	30	0.5
全体	5562	100.0



<参考> 2019年本調査の同項目との比較

※5%未満は非表示

2019年は「非常にそう思う」「わりとそう思う」「ややそう思う」の合計が72.4%であり、4.8ポイント上昇した。

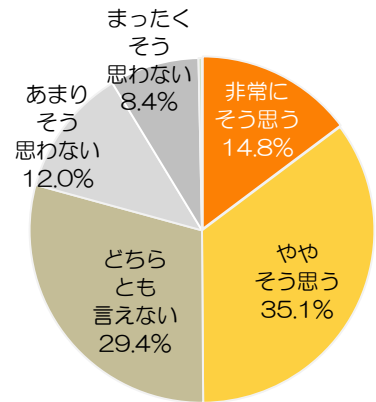
学校の理念への理解・共感

学校の理念に対する理解度・共感度は5割前後にとどまる。

- ・「学校の教育方針・理念を知っている」という設問に対して、「非常にそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答をした49.9%。
- ・また、「学校の教育方針・理念に共感できる」についても50.6%であった。参考値ではあるが、2019年に比べて、ともに約10ポイント上がっているものの、今後もさらなる改善の必要があると思われる。

■学校の理念について：本校（卒業校）の教育方針・理念の内容を知っている [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	821	14.8
ややそう思う	1954	35.1
どちらとも言えない	1633	29.4
あまりそう思わない	670	12.0
まったくそう思わない	466	8.4
不明	18	0.3
全体	5562	100.0



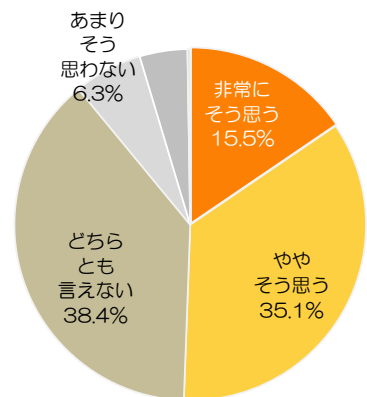
<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が40.9%であり9.0ポイント上昇した。

※5%未満は非表示

■学校の理念について：本校（卒業校）の教育方針・理念の内容に共感できる [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	862	15.5
ややそう思う	1952	35.1
どちらとも言えない	2139	38.4
あまりそう思わない	352	6.3
まったくそう思わない	244	4.4
不明	14	0.2
全体	5562	100.0



<参考> 2019年本調査の同項目との比較

2019年は「非常にそう思う」「ややそう思う」の合計が40.4%であり10.2ポイント上昇した。

※5%未満は非表示